



医療法人 禎心会
新札幌恵愛会病院

ご自由に
お持ち下さい

体と心に優しいがん治療を目指しています



がんは生活習慣病の1つでもあり、いまや日本人の2人に1人は生涯で罹る、とてもポピュラーな病気のひとつです。当院では、入院患者さんの半分以上が、がんを患っておられる方となっていますので、当院で行っているがんに対する治療のご紹介を致します。

標準的3大治療法

“内視鏡的あるいは外科的手術”、“標準的がん化学療法”、“放射線治療”を、癌診療ガイドラインに準じて、選択します。安全で、有効性の証明された実績ある治療法をインフォームドコンセント(説明)の上、実施いたします。最近はどの治療も合併症や副作用の比較的少ない方法が登場してきています。なお、放射線治療は当院では設備的に施行できませんので、必要な場合は市内の放射線治療施設にお願いしています。

当院のがん治療の特徴・特色

1. 微量化学療法

ほとんど副作用の生じない、また免疫力を低下させない化学療法を実施しています。がん温熱療法(ハイパーサーミア)と併用するケースが多く、相乗効果を期待し、ご希望をお聞きしながら、選択するようにしています。

2. がん温熱療法(ハイパーサーミア)

比較的新しいがんの治療法です。患部をラジオ波で42.5度まで加温し、がん細胞の死滅を目指します。さらに体を温めることで免疫力を高めます。肝臓がんにはラジオ波を利用した焼灼療法も行っています。

3. 活性化リンパ球療法(免疫治療)

保険対象外の新しい治療法です。次ページをご覧ください。

4. “温熱免疫療法” “温熱微量化学療法” “温熱免疫化学療法”

上記1~3の治療法の併用療法です。3大治療法を終えた方、副作用に耐えられない方、つらい治療をしたくない方、がんとの共存を希望される方にご提案しています。再発や転移を予防したり、QOLを改善したりすることが期待できます。進行再発がんの方には、QOLを保ちながら、がんと上手に付き合うことができる休眠・緩和治療の一方法としても利用しています。

私自身、苦しく痛い治療をできれば受けたくないと考えていますので、“気持ちのよいがん治療”を目指して、新しい取り組みを続けています。

院長 八十島 孝博

当院での治療のご紹介

当院での治療のご紹介 その8

がんの免疫療法と緩和ケア（緩和療法）



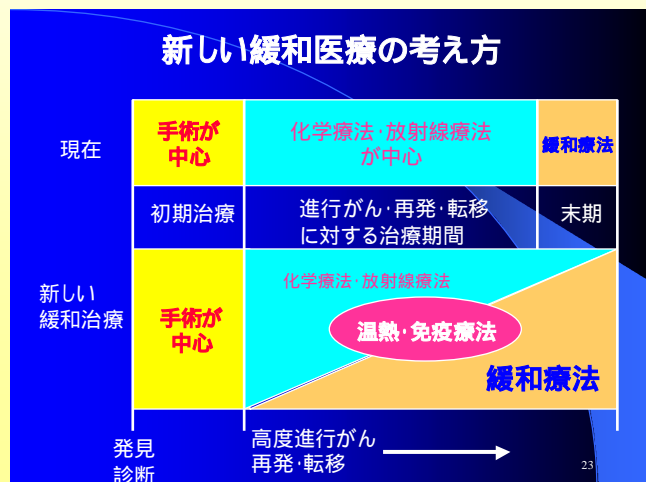
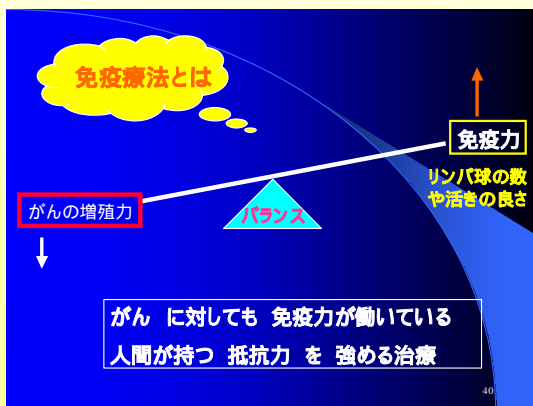
院長
八十島 孝博

がんが進行するか、小さくなるか、あるいは休眠状態となるかは、がんの増殖力と免疫力のバランスで決まります。免疫力とは外敵から身を守る体の抵抗力や自然治癒力のことです。白血球の中にある、がんを攻撃する力の強い「リンパ球」の数や“活きの良さ”のことです。免疫力は強いストレスで低下し、笑いなど快適な精神状態で向上することが科学的に証明されています。いくら有効な治療を受けても、強いストレスがかかっている状態ではがんの増殖を食い止めることは困難で、がんは進行してしまいます。

“免疫療法”はこの免疫力を高めることによりがんを治そうとする治療法で、健康保険内及び保険外医療として広く臨床応用されてきています。ワクチン療法やサイトカイン療法、活性化リンパ球療法、樹状細胞療法などがこの分野に入ります。これらの治療は基本的に医療機関で行われますが、自宅でできる食事療法、入手が容易で経口使用できるキノコやサメ軟骨といった健康食品も広く利用されています。

中でも、活性化リンパ球療法は、血液中からリンパ球（特にT細胞）を取り出し、数千倍に増やして体内に戻す治療法です。単独でがんを縮小させることは困難ですが、3大治療法（手術療法、放射線療法、化学療法）と併用することで再発や転移を予防したり、QOLを改善したりすることが期待できます。

また、ハイパーサーミア（温熱）療法と組み合わせた「温熱免疫療法」は、再発予防や緩和療法（進行がんの症状を和らげる治療）としても期待できる第4のがん治療といえます。ただし難点は保険対象外ですので、自己負担が大きいことです。詳しくは、セカンドオピニオン外来へ予約してください。



当院での治療のご紹介

当院での治療のご紹介 その9

リウマチの治療について



内科消化器科部長
三好 義範

関節リウマチは、高齢者に多いようなイメージがありますが、30歳から50歳の特に女性に多く発症します。全身性、進行性の炎症性疾患で、関節の腫れ、痛みが出現し、進行すると関節変形が起きて、日常生活に支障を来す様になります。また、貧血や倦怠感など多彩な全身症状を伴います。

治療は薬物治療、手術、リハビリなどが患者さんの状態にあわせ行われますが、中心は抗リウマチ薬による炎症や骨破壊の抑制です。近年、抗リウマチ薬の開発が進み、一昔前と比較し、効果の期待できる抗リウマチ薬の種類が増えてきました。なかでもTNF というサイトカイン（体内にある蛋白質の一種）の作用を抑えるように設計された生物学的製剤（商品名レミケード、エンブレルなど）が現在注目され、専門医を中心に使用されるようになりました。リウマチ患者さんの血液、関節液中にはこのTNF という蛋白質が増加しており、これが、炎症を誘発し、骨破壊を進めることがわかっていますが、レミケードやエンブレルはTNF の産生をブロックしたり、TNF の生理作用を抑えたりすることによりリウマチの活動性、骨破壊を抑えてくれます。

これまで日本でレミケードを投与された方では、約6割の患者さんに臨床効果が現れており、車椅子で来院した方が、レミケード投与後には歩いて帰宅したという報告もあります。副作用の問題から、すべてのリウマチ患者さんに使用できる薬剤ではありませんが、リウマチで悩んでいる患者さんは、リウマチ専門医に相談してみてもいいでしょうか？



各部署の紹介

臨床工学科



臨床工学科科長
古田 良彦

臨床工学技士は医師の指示の下、生命維持管理装置の操作及び保守管理を業としています。当科は、5名の臨床工学技士が各種業務にあたっています。

血液浄化業務では、慢性の維持透析の他に持続緩徐式血液濾過透析、血液吸着、二重濾過血漿交換、単純血漿交換等の各種急性疾患の血液浄化や胸水、腹水濾過濃縮再静注法等行っています。

温熱治療業務では、がん温熱治療装置（サーモトロンRF8）を操作し、身体に害の無い電磁波を用いて摩擦熱により「がん」のある部位を中心に暖め、熱に弱いがん細胞の死滅、免疫の活性、QOLの向上を目的として治療を行っています。

内視鏡業務では、始業点検、ERCPやバイオプシー等の検査介助、ポリペクトミーや止血等の治療介助、検査終了後、電子スコープや処置具の洗浄・消毒などを行っています。

ME機器管理業務では、臨床現場で使用される人工呼吸器、輸液ポンプ、シリンジポンプ、持続吸引器等を集中管理し保守点検管理の徹底を行い、信頼性、安全性のある医療機器を提供しています。

当科は、患者さまを中心により良いチーム医療へ取り組むと共に、安全で確実な医療を心掛けています。



臨床工学科のスタッフです。

写っている機械は温熱治療の機械です。

外 来 診 療 表

診療内容		月	火	水	木	金	土
総合診療	午前	八十島/江副	八十島/宍戸	八十島/江副	宍戸	八十島/宍戸	宍戸/江副
	午後	八十島	八十島	宍戸/江副	八十島/柳内	八十島	
消化器内科 消化器外科	午前						
	午後						
内 科	午前						
	午後						
外 科	午前		(手術)		(手術)		
	午後	(手術)	(手術)	(手術)	(手術)	(手術)	
整形外科 (非常勤)	午前	(8/3まで)		(8/4から)	(8/3まで)	(8/4から)	
	午後						
痛みの外来	午前		鍼治療	9:00-10:20	鍼治療		9:00-10:45
	午後	鍼治療				鍼治療	
腫瘍外科 (温熱免疫) (セカンドオ ピニオン)	午前	12:00-予約	12:00-予約	12:00-予約		12:00-予約	
	午後						
専門外来	午前		循環器内科		循環器内科		循環器内科 循環器外科 呼吸器内科 (2,3,4週)
	午後	乳腺/甲状腺 循環器内科	リウマチ	乳腺/甲状腺 循環器外科	ストーマ (人工肛門)	乳腺/甲状腺	
女性外来	午前						
	午後	女性専門		女性専門		女性専門	
血液透析 リハビリ がん温熱療法 外来化学療法	午前						
	午後						

受付時間 月～金 8:30～17:00
土 8:30～12:00
診療時間 月～金 9:00～12:00, 13:30～17:00
土 9:00～12:00

外来からのお知らせ

- ✚ 札幌市では中学1年生、高校3年生の方もしくはその年齢に相当する方は麻疹ワクチンを無料で接種する事が出来ます。ご希望の方は医事課までお申し出下さい。
- ✚ 札幌市では平成20年2月1日～平成21年3月31日までB型肝炎、C型肝炎の検査が無料で受けられます。ご希望の方は医事課までお申し出下さい。
- ✚ 整形外科の診療
8/4より 火曜日 午後
水曜日 午前
金曜日 午前 } と変わります。
- ✚ 第3土曜日午前も呼吸器内科の診療を行います。

ウォーキングで頭スッキリ!

ウォーキングが脳に良い効果をもたらすことをご存知ですか？足には人間の全身の筋肉の3分の2が集まっています。その筋肉は神経とつながり、神経はさらに脳とつながっています。ウォーキングをすると足の筋肉が活発に動き、それが神経を伝わり、操り人形の糸のごとく脳を刺激するのです。さらに運動を繰り返すことで、下半身に溜まった血液を心臓へ力強く押し上げます。10分、20分とウォーキングしているうちに、頭がすっきりして爽快な気分になることがあるでしょう。これは大脳の血のめぐりが良くなって脳細胞に十分な酸素が送り込まれたため、脳が活性化するからなのです。

人間の脳細胞は20歳前後から1日に何万という数で減少していくとか。年齢と共に歩くのが億劫になりがちですが、せっせとウォーキングして、これにブレーキをかけようではありませんか。



リハビリ科

救急当番のお知らせ

変更となる可能性がありますので、当日の新聞等でもご確認下さい。



7月27日(日) 9:00~翌9:00 消化器二次救急当番
8月13日(水) 9:00~翌9:00 消化器二次救急当番
9月6日(土) 9:00~翌9:00 消化器二次救急当番

編集後記

この新聞も第10号となりました。新聞なんて作った事のない私が新聞を作る事になり、どうすればよいかわからないまま、ドタバタとやっているうちに第1号ができ、みなさまのお手元へお届けし、そんな事の繰り返しで第10号まで来てしまった感じです。内容的にも自分では努力しているつもりですが、あまり進歩していないようで大変申し訳なく思っております。これからは病院の「顔」のひとつとなれるようがんばりたいと思いますので、みなさまもどうかあたたかく見守り下さい。ご意見などありましたらお気軽にお寄せ下さい。

(関根)

えがお通信 第10号 平成20年 7月22日発行
〒004-0035 札幌市厚別区大谷地東5丁目5番35号
医療法人 禎心会 新札幌恵愛会病院 地域連携室
電話 011-893-7000 FAX 011-893-8808
URL <http://www.teishinkai.jp> e-mail sk-hp@teishinkai.jp